

➤ J Aバンク中期戦略（2019～2021年度）について

« J Aバンクの目指す姿 »

組合員・利用者目線による事業対応を徹底するとともに、持続可能な収益構造を構築することで、
『**農業者・地域から評価され、選ばれ、一層必要とされる存在へ**』

1 【農業・地域の成長支援】

＜**不断の取り組みとして農業・地域の成長を支援**＞

経営課題に対する幅広いソリューション提供を通じて、農業所得向上・地域活性化・総合事業としての収益力向上を実現

- 農業所得向上および農業者の満足度向上
- J A 営農・経済事業の成長・効率化戦略
- 食農バリューチェーン構築による農業・地域の成長支援

金融仲介機能
の発揮

2 【貸出の強化】＜農業・地域に貢献するとともに持続可能な収益構造を構築＞

農業・地域の資金ニーズへの対応力を強化し、農業融資シェア・貯貸率を向上

- 貸出強化プランの実践（商品・推進戦略、貸出実施体制の整備・強化、人材育成等）
- 貸出業務の標準化およびインフラ整備

3 【ライフプランサポートの実践】

＜**組合員・利用者ニーズに即した事業展開**＞

投資信託の提案態勢を確立し、組合員・利用者の人生設計や資産形成・運用に最適な金融商品・サービスを提案・関係深化

- 資産形成・資産運用提案に不可欠な投資信託を活用したライフプランコンサルティングの実践
- ライフイベントセールスを通じた利用者基盤の維持
- 共済事業との連携強化

組合員・利用者本位
の業務運営

4 【組合員・利用者接点の再構築】＜リソースの再配置による事業運営の“質”の転換＞

チャネルの再構築等により、組合員・利用者の利便性・満足度向上とローコストな事業運営を実現

- 将来のチャネル体制を見据えたハードチャネル再編
- 新たな推進態勢の構築
- 非対面チャネルの強化
- その他業務・事務の効率化

【J A・県域一体の変革実践】＜**変革実践に向けた基盤構築・事業運営**＞

【内部管理態勢構築・健全性確保】 ～ 中期戦略実践の前提 ～